さまざまな形の読書につなげる

学校全体で取り組む

「読書の幅を広げる」活動

1 はじめに

学校での読書指導の役割の一つに、どの子どもも同じように教養を高め、主体的に学習する力を身につけさせることがあげられます。そのために、本校では、低学年は「絵本からの脱却」、中学年からは「読書の幅を広げる」、高学年では「手ごたえのあるものを読む」という三つの読書指導の課題に学校全体で取り組んでいます。

読書の習慣を身につけることで、国語はもちろんのこと、さまざまな教科でその力を活用することが期待できます。そのため、各学年10時間の情報教育のカリキュラムのうち、3時間を読書や情報の基礎指導に充てています。中でも「読書の幅を広げる」ことに重点を置いて取り組んでいます。

	基本的指導事項 3時間	操作的指導事項 7時間
1年	オリエンテーション・読み・並び方	基本操作 マウス・文字入力
2年	オリエンテーション・分類・もくじ	基本操作 画像読み込み・ファイル
3年	オリエンテーション・図鑑・著作権	ローマ字入力 画像スキル
4年	オリエンテーション 資料集(ハンドブック)・不足情報	ホームページ検索 チャット
5年	オリエンテーション・年鑑・情報比較	掲示板・TV電話 画像処理
6年	オリエンテーション 百科事典・情報の真偽	ホームページ作成 協働学習

情報リテラシーのカリキュラム

45分の前半は、占いの本(1分類)、点字や民話(3分類)、遊び(7分類)や英語の本(8分類)など、いろいろな分類の本を分類番号と合わせて紹介します。授業の後半は、物語(9分類)以外の冊から読んでみたい本を探し、カードに書いていきます。カードに書くことで分類と本と冊を一致させていくのです。全員のカードを各分類の冊に掲示すると、さらに子どもたちの興味は高まります。この学習をしておくことで、物語以外にも楽しい読み物があることを知り、三学年における読書や理科・社会科の調べ学習にも備えることができます。

この学習の前段階として、二つの指導をしています。一つは、一学年の「本の並び方」の指導です。図書館の本は古い順でも大きき別でもなく、内容のまとまりで冊に収められていることを学習します。10の分類を簡単に紹介し、そのあと利用する4分類や5分類の冊を覚えていきます。

もう一つは、二学年の前半に指導する「もくじを使う」です。「にわとりは足でオス・メスのちがいがわかるか」など、本にはさんだクイズの答えを、目次から探します。このときには、低学年でもわかりやすい簡単な目次のある本を使い、いろいろな分類の本から問題を作ること、少しずつ物語以外の本にも親しむことができます。

(3) ワークシートを利用する取り組み(中学年)

中学年では、四月に配布するワークシートの「読書のめあて」に「読書の幅を広げる」かわって読む」の項目が追加され、学年末に振り返りをするようになっていきます。また、指導の要点や発問を朱書きしたワークシートを各担任に渡し、指導の参考にしてもらいます。子どもたちは、「今年は、冊数にチャレンジジ

2 「読書の幅を広げる」取り組み

(1) 読書の幅を広げる必要性

子どもたちには、物語を楽しむだけでなく、歴史や科学読み物も理解し関心をもってほしいと思っています。しかし、物語とそれ以外の読み物では読み方が基本的に違います。理科や社会科では、非連続型テキスト(グラフや図表など)を読むことが必要です。また、初めから順に読んでいく物語とは違い、必要な情報を探すために、途中の章だけ読んでいくこともあります。こういった物語以外の読み方を身につけることは、知りたい情報を見つけ出し、生活に生かしたり、知的好奇心を満足させたりすることにつながります。

(2) 「分類」の考え方を生かす取り組み(低学年)

三学年からは理科や社会科が始まります。さらに中学年の国語科では、「読書の幅を広げる」ことが求められています。そのため、二学年の最後には「かんたんな分類」の授業をします。

する以外に、○つの分類を「読む」などためあてを決めます。

また、朝の読書記録カードに分類番号の項目を設けたり、A4用紙一枚程度の理科や社会科の読み物を配布して授業の合間に読んでみることにし、読書の幅をさらに広げていきます。

(4) 読書「旬間」での取り組み

読書「旬間」には、担当者が各教室にブックトークに行きます。テーマを選ぶ際は、分類が多岐にわたるような選書を選びます。また、その学年に合った、続きを読んでもたくなるような本を、公共図書館から借りたり、司書や他校から紹介してもらったりします。また、ブックトークの記録をとっておき、次に生かせるようにします。

さらに、「分類ビンゴ」や「図書館一周」など、全校を対象に読書の幅を広げる取り組みを行っています。

3 おわりに

このような活動に計画的、継続的に取り組むことで、少しずつ子どもたちの読書量が増え、幅も広がってきました。また、国語の指導者である各担任が、読書の幅を広げることに関心をもつようになりました。

一年間の読書生活を振り返ろう

年 組 名 姓

★読書のふりかえり

すこい!	よかった	もうすこしがんばろう
読む	読む	読む
借りる	借りる	借りる
種類	種類	種類
楽しむ	楽しむ	楽しむ
関わる	関わる	関わる

★もうすこし楽しくふりかえろう

★次の学年になったらこうしたいな

中学年で使用するワークシート

白山市立東明小学校教諭

中條 敏江